

品種育成をより迅速に

—ゲノム情報に基づく作物育種の今と未来—

日時 2019年 9月 8日 日 13:30～17:00

場所 東大寺総合文化センター 金鐘ホール



食料生産に関する国内外の課題を解決するためには、ニーズに合った品種を迅速に育成する必要があります。本公開シンポジウムでは、DNA マーカー育種やゲノム編集技術の原理を分かりやすく説明するとともに、それらの技術によって得られた作物を紹介します。また、種苗制度をめぐる現状と課題について解説し、育種技術の普及を社会的な側面からも考えたいと思います。

- 🍃 「コシヒカリ」から「いちほまれ」へ
—福井県農業試験場における水稲品種開発の取り組み—
小林 麻子 (福井県農業試験場・ポストコシヒカリ開発部)
- 🍃 民間種苗メーカーにおける DNA マーカー技術を活用した育種
島津 樹一 (ナント種苗株)
- 🍃 ゲノム編集による高速育種の時代が到来
江面 浩 (筑波大学大学院生命環境科学研究科)
- 🍃 ゲノム編集技術など新しい育種技術の安全性とは?
大澤 良 (筑波大学大学院生命環境科学研究科)
- 🍃 種苗制度をめぐる現状と課題について
辻本 直規 (農林水産省食料産業局知的財産課)

入場無料

(独)日本学術振興会 令和元年度研究成果公開發表 (19HP0021)

問い合わせ

一般社団法人日本育種学会第136回講演会運営委員会

〒631-8505 奈良県奈良市中町 3327-204 近畿大学農学部

電話: 0742-43-8297 FAX: 0742-43-5271 E-mail: jsb136@nara.kindai.ac.jp

